

新バビロニアの年代記

ナボポラッサル年代記

1. . . .の月に、バビロンに兵士らを送っていたナボポラッサルは、夜に
2. 町に入り彼らは終日市内で戦った。
3. 彼らはアッシリアを打ち破った。Sin-šarra-iškun の守備隊はアッシリアに逃亡した。
4. 町は . . . に委ねられた。Ul・lu の月の 12 日にアッシリア軍が
5. アッカドに下って来て、Šasanaku に入り、神殿に火を放ち
6. 略奪した。そして Tašr・tu の月に Kiš の神々がバビロンに向かわれた。
7. N の日、アッシリア軍はニップールに向かいナボポラッサルは彼らを前にして撤退した。
8. アッシリア軍とニップール軍はウルクまで彼を追跡した。
9. 彼らはウルクでナボポラッサルと戦いナボポラッサルを前にして撤退した。
10. Ajaru の月にアッシリアの軍がアッカドに下って来た。Tašr・tu の月の 1 2 日に
11. アッシリアの軍がバビロンに向かって進撃して来た時に、バビロニア人は
12. バビロンから外に出た。そしてその日に彼らはアッシリアの軍と戦い、
13. アッシリアの軍に大敗北を与え、彼らから略奪した。
14. 一年もの間その地には王はいなかった。Arahsamna の月の 26 日（前 626 年 11 月 23 日）にナボポラッサルが
15. バビロンで王位に就いた。ナボポラッサルの即位の年(前 626/625 年) : Addaru の月（2 月 24 日/3 月 23 日）に
- 16-17. ナボポラッサルはアッシリア人が持ち去ってウルクに置いていたスーサの神々をスーサに戻した。

18. ナボポラッサルの最初の年（前 625/624 年） : Nisannu の月に恐慌状態が町を覆った。
19. Šamaš や Šapazzu の神々がバビロンに向かわれた。
20. Ajaru の月の 21 日（前 625 年 3 月 14 日）にアッシリアの軍が Raqmat に入り戦利品を持ち去った。
21. . . .月の 20 日にシッパルの神々がバビロンに向かわれた。
22. . . .bu の 9 日（前 625 年 7 月 30 日）にナボポラッサルと彼の軍は Raqmat に行軍した。
23. 彼は Raqmat に対して戦ったが町を占領しなかった。その代わり、アッシリア軍が到着し、それで
24. 彼ら彼らを前にして撤退し引き上げた。

25. ナボポラッサルの第二年（前 624/623 年） : Ul・lu 月の最初（前 624 年 8 月 9 日）にアッシリア軍が
26. アッカドに下って来て Banitu 運河の傍らに陣を取った。
27. 彼らはナボポラッサルに対して戦ったが何も達成せず
28. . . .撤退した。

29. 第三年（前 623/622 年） : . . .の月の 8 日にデールがアッシリアに対して離反した。Tašr・tu 月の 15 日（10 月 11 日）に

30. (アッシリアの将軍) Itti-ili がニップールとの戦いに加わった。その後アッシリア王がアッカドに下って来た
31. 彼の部隊を率いて、そしてデールを占領した。彼はその財貨を持ち出し、それらをニップールに送った。
32. 彼は Itti-ili を追跡し、ウルク？を略奪し、ニップールに守備隊を設置した。
33. 彼はユーフラテスを越えて北上し出発した
34. アッシリアに向けて。彼は・・・nu を略奪しニネヴェエに向けて出発した。
35. 彼に対して戦をすべくやって来た・・・
36. ・・・彼らが彼を認めた時に彼らは彼の前で跪拝した。
37. ・・・
38. 反乱を起こした王・・・
39. 百日間・・・
40. ・・・時に・・・
41. ・・・反乱・・・

ニネベの陥落

ナボポラッサルの 10 年（前 616/615 年）：Ajaru の月に、ナボポラッサルはアッカドの軍を動員しユーフラテス川の堤に沿って行軍した。Suhu 人や Hindanu 人（ハランの南に住む）は彼と戦わず彼の前に貢物を置いた。

・bu の月にアッシリアの軍は Gablini において戦の準備をしナボポラッサルは彼らに対して北上した。・bu 月の 12 日（前 616 年 7 月 24 日）に彼はアッシリアの軍に対して戦いアッシリアの軍は彼を前して撤退した。彼はアッシリアに大敗北を与え彼らを広範囲に略奪した。彼はアッシリア人の支援にやって来ていたマンナイ人とアッシリア人の将校らを捕えた。その同じ日に Gablini を占領した。

・bu 月にアッカド王とその軍は上流を遡って Mane、Sahiri 及び Bali-hu に向かった。彼はそれらを略奪し広範囲にわたって荒廃させ彼らの神々を強奪した。

Ul・lu 月にアッカド王と彼の軍は引き返しその途中で彼は Hindanu の民とその神々をバビロンへ連れて行った。

Tašr・tu 月にエジプト軍とアッカド軍がアッカド王を Gablini まで追跡したがバビロニア王に追い着かなかった。それで彼らは撤退した。

Addaru の月に Arraphu（今日のキルクーク）の郊外、Madanu においてアッシリア軍とアッカド軍は互いに相手と戦い、アッカド軍を前にしてアッシリア軍が退却した。バビロニア軍はアッシリア軍に大打撃を与え彼らをザブ川へと撃退した。彼らは戦車や馬匹を捕獲し彼らを広範囲にわたって略奪した。彼らはティグリス川を渡って彼らと共に多くの（欠損）を手にしそれらをバビロンに連れて来た。

11 年（前 615/614 年）：アッカドの王はその軍を動員し、ティグリス川の堤に沿って行軍し、Ajaru 月に Aššur に対して陣を張った。Simanu 月の（欠損）日にその町に対して戦闘したが占領するに至らなかった。アッシリア王は軍を動員し、Aššur からアッカド王を押し戻しティグリス川沿いにある町、Takrita'in まで彼の後を追って行軍した。アッカド王は Takrita'in の砦に軍を駐屯させた。アッシリア王とその軍は Takrita'in に駐屯させられていたアッカド王の軍に対して陣を張り、10 日間にわたって戦闘を交えた。しかしアッシリア王はその町を占領するに至らなかった。その代わりに、砦に置かれていたアッカド王の軍がアッシリアに対して大損害を与えた。アッシリア王とその軍は踵を返して本国へと向かった。

Arahsamna 月にメディア人が Arraphu へと下りそして（欠損）

12 年（前 614/613 年）：・bu 月にメディア人は、ニネベに向かって行軍した後（欠損）、ニネベ地区にある町、Tarbisu へと急ぎ占領した。彼らはティグリス川に沿って進み Aššur に対して陣営を設けた。彼らはその町に対して戦いを仕掛け破壊した。彼らは強大な人々に恐るべき敗北を与え、彼らを略奪し荒廃させた。アッカド王とその軍は、メディア人支援に向かっていたが、戦闘には間に合わなかった。都市は奪取された。アッカド王とキュアクサレスは町の傍で互いに会見し偽りのない協約を結んだ。後にキュアクサレスとその軍は戻って行った。アッカド王とその軍は戻って行った。

13 年（前 613/612 年）

Aiaru 月に Suhu 人がアッカド王に対して反乱を起し交戦した。アッカド王は軍を動員し Suhu へと行軍した。Simanu 月の 4 日（前 613 年 5 月 11 日）に、ユーフラテス川の中州にある町 Rahi-ilu に対して戦い、その時に彼はその町を占領した。彼は彼の（欠損）を建設した。ユーフラテス川の堤に住んでいた人々は彼の許に下って来た。（欠損）彼は Anati に対して陣を張り攻城兵器を彼は西側から持って来

た（欠損）彼は城壁に攻城兵器を仕向けた。彼はその町に対して戦闘を行い占領した。アッシリア王とその軍が下って来たが、アッカド王とその軍は帰国した。

14 年目（前 612/611 年）：

アッカド王は軍を動員しアッシリアへ行軍した。メディア人の王はアッカド王とその軍に向かって行軍し、**lu**において彼らは会合した。アッカド王とその軍はアッカド王とその軍はティグリス川を渡り、キュアクサレスは **Radanu** 川を渡らなければならなかったが、彼らはティグリス川の堤に沿って行軍した。**Simanu** 月の **N** の日に彼らはニネベに対して陣を張った。

Simanu 月から **bu** 月まで、三か月の間、彼らはその町を重包围に晒した。**bu** 月の **N** の日に彼らは偉大な住民に大敗北を負わせた。その時にアッシリア王の **Sin-šar-iškun** が亡くなった。彼らはその都市と神殿の膨大な戦利品を持ち去りその都市を瓦礫の山に変えてしまった。アッシリアの（欠損）は敵陣から逃れ出て、命乞いの為に、アッカド王の脚を捉えた **Ul·lu** 月の 20 日（前 612 年 9 月 14 日）キュアクサレスとその軍は帰国した。彼が出立した後、アッカド王は軍を **Nasibina** に派遣し彼らは行軍した。略奪品と亡命者たち（欠損）そして彼らは **Rusapu** の住民をニネベに居るアッカド王の許に連行した。（欠損）月の（欠損）日に **Aššur-uballit** が **Harran** においてアッシリアを統治すべく王位に就いた。（欠損）月の（欠損）日までにアッカド王は出陣し（欠損）において（欠損）

15 年目（前 611/610 年）：

Du'·zu 月にアッカド王は軍を動員しアッシリアに行軍し勝利を収めた。（欠損）と **Šu**（欠損）の辺りに行軍し、それを略奪して膨大な戦利品を運んだ。

Arahsamna の月にアッカド王は個人的に軍を指揮して **Ruggulitu** に向かって行軍した。彼はその町に対して戦闘し **Arahsamna** 月の 28 日に占領した。彼は一人も生きては残さなかった。（欠損）彼は帰国した。

16 年目（前 610/609 年）

Ajaru の月にアッカド王は軍を動員してアッシリアへと行軍した。**Simanuuntil** 月から **Arahsamna** までアッシリアに行軍し勝利を収めた。**Arahsamna** 月にメディア人は、アッカド王の支援に来ていたが、彼らの軍を統合し、アッシリアの王位に就いていた **Aššur-uballit** に対して **Harran** へと行軍した。敵軍への恐れが **Aššur-uballit** と支援にやって来ていたエジプト軍を圧倒し、彼らは町を捨ててユーフラテス川を渡った。アッカド王は **Harran** に到着し、一戦を交え、町を占領した。彼はその町や神殿の莫大な戦利品を持ち去った。**Addaru** の月にアッカド王は自らの軍と陣営を後にし、本国に戻った。メディア人は、アッカド王支援に来ていたが、撤退した。

17 年目（前 609/608 年）：

Du'·zu の月にアッシリア王の **Aššur-uballit** はエジプトからの援軍と共にユーフラテス川を渡り **Harran** を征服すべく行軍した。彼らは（**Harran** への街道上にある町）を占領した。彼らはアッカド王が市内に配備していた守備隊を破った。彼らが守備隊を破ると直ぐに **Harran** に対して陣を張ったが、何も達成しなかった。**Ul·lu** の月まで彼らはその都市に対して戦闘したが何も達成しなかった。アッカド王は軍を救援すべく向かったが戦闘には加わらなかった。彼は（欠損）山脈にある **Izalla** や数多くの町に向かい（欠損）彼らの（欠損）を火に掛けたのである。

その時（欠損）の軍はウラルトゥ地区まで行軍した。（欠損）の地で彼らはそれらの（欠損）を略奪した。

（欠損）の王がそこに配置していた守備隊が出発した。彼らは（欠損）に向かっていった。アッカド王

は本国に戻った。

18年目（前608/607年）に：

Ul・luの月にアッカド王は軍を動員し（欠損）

願わくはNab・とMardukを愛する者はこの粘土板を保管し他人の手に流出させないように。

新バビロニアの最後の日々：『ナボニドスの年代記』

ギリキア～シリア～パレスティナへの遠征

第1年 (555/554): 王は軍を動員し Hume の邦 (ギリキア) に向かって遠征した。

第2年 (554/553): Hamath (オロンテス川渓谷にある北部シリアの重要都市) の邦では気温が寒く・・・

第3年 (553/552): 数多くの果樹に満ちる山脈である(ギリキアの)Ammananum 山脈に(遠征した?)。
あらゆる種類の木の実を彼はバビロンに送った。

王は病に倒れたが、回復した。王は軍を動員し、Amurru (シリア北西部にある) の Nabû Bel-Danni に差し向け、(欠損) に向けて遠征した。Edom の首都に対しては陣営を設営し(欠損) Šintini の門(欠損) 彼は殲滅し(欠損)

ペルシアの出現とメディア王国の滅亡

第6年 (550/549): アステュアゲス (Ištumegu) 王は軍を動員し、戦いに臨むべく、Anšan の王キュロス (Kuraš) に向けて遠征した。アステュアゲスの軍は反乱を起こし枷に繋いで彼をキュロスに引き渡した。キュロスは Agamtanu (エクバタナ) の邦に遠征した。王宮を占領し、Agamtanu の邦の銀や金、その他の高価な品々を戦利品として手にし Anšan に持ち帰った。
(欠損) の軍の高価な品々は(欠損)

アラビアのテマでの活動

第7年 (549/548): 王は Temâ に留められた。王子と王に仕える役人、そして軍は Akkad (バビロン) に在った。王は Nisannu の月の(新年) 祭を挙げるためにバビロンには来られなかった。Nabû 神の像はバビロンに来なかったし、Bêl 神の像は行列を従えて Esagila から外へは出られなかったし、新年祭は行われなかった。Esagila や Ezida の神殿において奉納は完全な儀式に従って行われ、urigallu 神官が献酒を行い聖水を散布して神殿を清めた。

第9年 (547/546): 王は Temâ に留められた。王太子と王に仕える役人、そして軍は Akkad (バビロン) に在った。王は Nisannu の月の(新年) 祭を挙げるためにバビロンには来られなかった。Nabû 神の像はバビロンに来なかったし、Bêl 神の像は行列を従えて Esagila から外へは出られなかったし、新年祭は行われなかった。バビロンと Borsippa の神々の為に Esagila と Ezida の神殿において奉納は完全な儀式に従って行われた。

Nisannu 月の5日目に母后が、ユーフラテス川の岸边にあり、Sippar の上部にある壁で囲まれた陣営において亡くなられた。王太子と軍は3日間深い悲しみに包まれ、公の嘆きが行われた。アッカドでは、母后の為に公式の嘆きの儀式が Simanu の月に行われた。

Nisannu の月にペルシア王のキュロスが軍を動員し Arbela の町の下でティグリス川を渡った。Ajaru の月に彼は U[...]の邦に向かって遠征しその王を打ち破り、その財物を奪い、そこに兵士の中から守備隊を設置した。それ以後王と同じく彼の守備兵たちはそこに留まった。

キュロスの攻撃と新バビロニア王国の滅亡

第16年 (540/539): (欠損) 河を(欠損) ペルシア軍が攻撃した。

第 17 年 (539/538): Bêl の行列の為に Nabû が Borsippa から出立した。(空白) 王が Eturkamma の神殿にお入りになった。神殿において葡萄酒の献酒式を行われた。Bêl が行列で外へ出られた。彼らは新年祭を完全な儀礼に従って執り行った (4 月 4 日)。

[Âbu?]の月に Marad の町の Lugal-Marada やその他の神々、Kish の Zabada やその他の神々、Hursagkalama の Ninlil 女神やその他の神々がバビロンを訪れた。Ulûlu の月の終わりまでに Akkad のすべての神々が、北方の神々や南方の神々がバビロンに入られた。Borsippa や Cutha、Sippar の神々は入られなかった。

Tašritu の月に、キュロスがティグリス川の Opis にある Akkad の軍を攻撃した時に、Akkad の住民は反乱を起こしたが、彼 (キュロス) は住民を殺戮した。15 日 (10 月 12 日) に、Sippar は戦うことなく奪われた。Nabonidus は逃亡した。16 日、Gutium の総督 Gobryas (Ugbaru) とキュロスの軍が戦うことなくバビロンに入城した。その後、Nabonidus が その地に戻って来た時にバビロンで逮捕された。月の終わりまで、盾を携えたグチ人が Esagila の中に留まったが何人も Esagila とその建物の中に武器を持ち込まなかった。祭典の正確な時間は失われなかった。

ペルシアの支配体制の確立

Arahsamna の月の、3 日 (10 月 29 日)、キュロスがバビロンに入れ、(特定できない物) が彼の前に積み上げられ、平和状態が町に課せられた。キュロスは全バビロンに挨拶を送った。彼の総督 Gobryas はバビロンに行政官を置いた。

Kislîmu の月から Addaru の月までの間に、Nabonidus がバビロンに将来したアッカドのすべての神々が彼らの聖なる町々に戻された。

Arahsamna の月の 11 日の夜に Gobryas が亡くなった (11 月 6 日)。

Addaru の月の (欠損) 日に王の妃が亡くなった。Adarru の 27 日から Nisannu の 3 日まで (3 月 20 日~26 日) アッカドにおいて公の嘆きが行われた。全ての人々が髪を振り乱して歩き回った。4 日 (3 月 27 日) にカンビュセスが (名前不明の) 神殿に赴いた時、(欠損) Nabû の epa 神官が牡牛を (欠損)。彼らは来て取っ手を用いて織りものを織り、彼が Nabû の像を導いて槍と革製の矢筒 (欠損) した時に、(欠損) から Nabû は Esagila にお戻りになり、Bêl と Mârbîti 神の前で羊を奉納した。